

ウ 地域交流センターで月 1 回喫茶コーナー（茶話会）を実施し地域の方々との交流を一層深めて行くよう努めた。

エ 地域主催の介護教室等積極的に協力し、地域福祉の担い手となるように努めた。

(6) 職員の資質の向上

ア ユニットケアの推進のため、介護技術研修・先進施設視察・ユニット関連の研修会参加に積極的に取り組み質の向上に努めた。

イ 介護福祉士養成実習施設として、高校や専門学校等の研修生を積極的に受け入れた。

ウ 新規採用者に対して新人研修プログラムに沿った指導を行う事で基礎知識の統一に努めた。

(7) 非常災害対策

ア 園舎内外の夜間における火災、地震等の災害発生に対応するため、本年度も夜間管理を民間（個人）に委託した。

イ 常に消火設備・避難設備等の点検整備に心がけ、有事に備え入居者の人命尊重を第一に、毎月避難訓練、年 2 回の消防署立合の総合防災訓練を実施し、防災意識の高揚と協力体制の確立に努めた。

2 実施状況

月例	音楽リハ	(第 2・4 月曜日)
	個別リハ	(毎週水曜日)
	誕生会	(毎月 各ユニット)
	理髪の日	(毎月)
	避難訓練	(毎月)
	課長会議	(毎月 第 3 火曜日)
	施設長会	(毎月 第 4 火曜日)
	リーダー会	(毎月)
	事業団介護相談員相談日	(毎月第 3 木曜日)
	ユニットケア推進委員会	(毎月)
	(抱えない介護・水分・排泄・認知症・歩行・園芸・レク・散髪)	
	喫茶コーナー開設	(4 月～11 月) 毎月ボランティア協力 8 名程
	新規採用者職場内研修	(5 日間) 職員採用時
	事故発生防止委員会	感染症・食中毒委員会、身体拘束廃止委員会
	褥瘡対策委員会、医療的ケア対策推進委員会、衛生委員会	(毎月随時)

平成 26 年

4. 2 花見 (各ユニットで母智丘へ)
- 9 職員検便 (毎月：調理、隔月：直接処遇職員)
- 2 4 職場内研修「今年度の事業計画と予算について」年 6 回開催

5. 2 職場内研修「排泄介助について」
- 2 郊外レク (早水公園)
- 1 0 都城西高校ボランティア来園 (2 名)
- 1 5 (実習)都城市コアカレッジ (3 名 6/1 2 迄)
- 1 6 (研修) 抱えない介護勉強会 (年 8 回、講師専任作業療法士)
- 1 8 平田地区ボランティア来園 (1 0 名)